



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: けちゅ さん からの質問

うさぎの赤ちゃんは
なんひきうまれますか?

ご質問、ありがとうございます。

ウサギの赤ちゃんはとても未熟な状態で生まれてくるので、見たことのある方は少ないかもしれません。今回は、ウサギの赤ちゃんが生まれるまでと、赤ちゃんの成長について解説をしていきます。



飼育されているウサギは、季節にかかわらず1年中赤ちゃんを産むことができます。妊娠期間は約30日前後。出産直前でもお母さんウサギのお腹はほとんど

大きくならないので、飼育員は交尾を確認した日から計算して出産日を予想します。お母さんウサギが自分の毛や乾草を使って出産用の巣を作り始めたら、出産が近い合図です。



ウサギは通常、1回の妊娠で1~8頭ほどの赤ちゃんを産みます。当園で飼育しているネザーランドドワーフという品種は、カイウサギの中でも小型の品種のため、赤ちゃんは2~4頭で生まれることが多いです。生まれたばかりの赤ちゃんはとても小さく、毛は生えておらず、目も耳も閉じています。巣の中で出産することが多いので、飼育員もこの時期の赤ちゃんウサギを見ることはほとんどありません。

生まれて10日ほどすると、赤ちゃんウサギが自力で動けるようになり、巣から出てきます。耳は短めですが、大人をそのまま小さくしたような見た目になっています。お母さんウサギのお乳ももらいますが、果物や野菜など軟らかい食べ物にも興味を示します。

生まれて1ヶ月すると、体も徐々に大きくなって、大人のエサを食べるようになり、親からは自立します。

あっという間のウサギの子育て。ふれあい館にはウサギの家系図も掲示しているので、ウサギ同士の関係に注目するのもおもしろいかもしれません。